



2012年8月17日

報道関係者各位

Charity Sports Festival 2012 大学生 1000 人の運動会が発展途上国支援に!!

学生団体 SWITCH が、社会貢献の啓発を目的として、9月4日に川崎市とどろきアリーナでチャリティ学生大運動会～Charity Sports Festival 2012～を開催します。

「学生生活で何かしたいけど、何をすればいいのかわからない。」などと思っている学生に対して、この運動会に参加することで社会貢献に繋がるということを実感してもらい、学生生活をより良いものに変えるきっかけづくりを目的に開催します。

この運動会の収益金は、子どもたちの就学支援をおこなう国際協力 NGO 一般財団法人 民際センター（東京都新宿区 / 理事長 秋尾 晃正）に寄付されます。

〈開催概要〉

- イベント名：Charity Sports Festival 2012
- 内 容：運動会を通じてチャリティの啓発、新たな視野や価値観の形成、学生生活を充実させるためのきっかけの提供
- 開催場所：川崎市とどろきアリーナ（神奈川県川崎市中原区等々力1-3 最寄駅：武蔵小杉駅）
- 開催日時：2012年9月4日（火） 11:00～19:00
- 参加資格：大学、専門学校、短期大学の現役大学生
- 参加費用：1500円
- 予定参加人数：1000人
- 主 催：学生団体 SWITCH



Charity Sports Festival 2011

〈本件に関する問い合わせ先〉

■本イベントに関するお問い合わせ

学生団体 SWITCH 担当：佐藤 龍介
住所：〒113-0024 東京都文京区西片1-15-1 新発田育英会学生寮202号室
TEL：080-4361-0116 E-mail：ryuuuuusuke310@gmail.com

■本プレスリリース配信に関するお問い合わせ

一般財団法人 民際センター
所在地：〒162-0801 東京都新宿区山吹町 337 江戸川橋東誠ビル 5F
TEL：03-6457-5782 e-mail：info@minsai.org

■チャリティ学生大運動会～Charity Sports Festival 2012～開催概要

〈開催趣旨〉

学生団体 SWITCH は、このイベントを開催にあたり、3つの狙いがあります。

- ①大学生が感じるボランティアチャリティの堅苦しいイメージの払拭
- ②参加者同士の新たな出会い、それによる価値観の形成
- ③海外に興味を持ってもらう

これら3つを参加者に感じてもらい学生生活充実のきっかけになればいいと思っております。

〈イベント概要〉

学生がゼロから企画する学生1000人規模の大運動会です。また、学生の参加費から必要経費除いた収益を信頼できるNGOを介して発展途上国への支援に充てます。運動会という楽しいイベントのプログラムの中に発展途上国の現状や海外に出ることの大切さなどのメッセージをムービーやスピーチなどで、参加者に伝え上記の趣旨の達成を目指します。

〈今年のCharity Sports Festival〉

8色のチームに分かれて、小・中・高校で楽しんだリレー、障害物競走、綱引きなどの懐かしの競技を現役大学生が優勝を目指して本気で競います。

さらに、若手お笑いコンビ「門出ピーチクパーチク」さんによるメインMCや、学生によるパフォーマンスと競技以外にも見所があります。

〈学生団体 SWITCH のボランティア〉

SWITCHの社会貢献は、単なる金銭支援ではありません。昨今、日本の若者の海外離れが懸念されるなかで、海外に対して興味やプラスのイメージを持ってもらい、海外に行く学生を増やすために、今まで活動してきたボランティアをムービーやブログなどで紹介しています。

さらに私たちは海外を訪問し、訪問国の子どもたちとの運動会を開催させていただいている。なぜ海外で運動会を開催するかというと、日本の文化を知ってもらえるだけでなく、情操教育の一環として効果的であると考えたからです。

金銭的な支援は大人になってもできます。しかし、学生にしかできないボランティアもあると考えています。それは、時間に余裕があるからこそ海外へ行き、現地の人々と交流することによる「心」の支援です。



昨年度はラオスを訪れて運動会を開催しました。

■学生団体 SWITCH 団体概要

- 正式名称 : 学生団体 SWITCH
- 代表者 : 中ノ森 正貴 (明治大学 3 年)
- 設立年月日 : 2009 年 3 月 5 日
- 主な活動内容 : 学生にキッカケを提供できるイベントの企画・運営
(チャリティ学生大運動会「Charity Sports Festival」が軸)
ボランティア活動、チャリティ啓発活動
- U R L : <http://ameblo.jp/switch012/> (弊団体ブログ)
- お問い合わせ : charifes2012@gmail.com (イベントに関するお問い合わせ)
switch.012@gmail.com (団体に関するお問い合わせ)

■ SWITCH × 民際センター 支援国での運動会開催について

2012 年 3 月に、SWITCH のメンバーがラオスにスタディツアーリーを行い、民際センターがコーディネートしたラオスの小学校で運動会を開催しました。2013 年 2 月には、カンボジアの中学校での運動会の開催を計画しています。

民際センターは、支援対象国での運動会の開催の目的を、支援国の子どもたちに「運動会」という団体活動を通じ、チームワークの重要性を体験し「仲間意識を育成すること」と考えています。また、仲間との交流を通じ、愛村心を育み、地域おこしを担う次世代の若者の人材育成を目標としています。

かつて、カンボジアではポル・ポト政権時代に、人々が互いにスパイをしあい、お互いに蹴落とし合っていた後遺症が、今でも根深く残っています。そのため、村の中での団結心の欠如が否めないのが、カンボジアの現状です。この運動会をきっかけとして、カンボジアの若者たちが協力しあい、ひいては「一村一品運動」のような村の活性化を図る活動を積極的にして欲しいと願っています。

一方、日本の若者にとっては、カンボジアでの運動会に参加することにより、異文化を知り、日本とカンボジアの関係を理解し、将来の自分たちの活躍の場を広める貴重な機会となると考えています。今後も、学生団体 SWITCH をはじめとし、民間レベルでの人的な国際交流の輪を広げたいと考えている団体と連携して、国際教育支援の活動に取り組んでいきます。

■ 一般財団法人民際センターについて

1987 年に日本民際交流センターとして創設し、2009 年に一般財団法人民際センター設立。子どもたちの就学の夢を叶える国際協力 NGO として活動し、1 万円で 1 人の子どもが 1 年間学校に通える「ダルニー奨学金」を経済的に恵まれないタイ・ラオス・カンボジアの子どもたちへ提供しています。「1 対 1 の顔の見える支援」として多数のドナーの皆さまの賛同・協力を得て、これまで、延べ 35 万人以上の子どもたちに奨学金を提供してきました。

- 団体概要 名称 一般財団法人 民際センター (EDF-JAPAN)
- 所在地 〒162-0801 東京都新宿区山吹町 337 江戸川橋東誠ビル 5F
- TEL 03 (6457) 5782
- 設立日 2009 年 4 月 1 日 (1987 年 日本民際交流センター 設立)

●活動目的	活動目的	教育支援、地域開発及び緊急支援等を行い、世界の貧困削減、平和構築に寄与すること
	事業対象分野	教育支援、海外開発協力
	事業形態	奨学金提供等の教育支援、地域開発、地球市民教育
	活動対象国	タイ、ラオス、カンボジア
●役員構成	理事長	秋尾 晃正
	理 事	阿刀田 高（作家・社団法人日本ペンクラブ 15代会長） 阿部 汎克（元毎日新聞東京本社論説副委員長） 浦上 節子（公益財団法人浦上食品・食文化振興財団理事長） 草場 宗春（前大阪大谷大学学長） 高柳 弘（社団法人経済俱楽部理事・相談役） 平野 健一郎（早稲田大学・東京大学名誉教授）

■「ダルニー奨学金」について

ダルニー奨学金は、経済的貧困のため教育の機会に恵まれないラオス・カンボジア・タイの子どもたちの進学を支援する国際教育里親システムです。

①1対1の顔の見える支援

自分が支援する子どもの成長が実感できる里親型の寄付制度です。

②わかりやすい支援システム

1年に1万円で1人の子どもが1年間学校に通えます。

③延べ35万人以上の子どもに奨学金を提供

多くの方の子どもの未来を思う心に支えられ、毎年約2万人、延べ35万人以上の奨学金を提供してきました。

■支援の仕組み

